



四條畷楠正行の会発足3周年記念事業

武士道の人、楠正行 今、蘇る！

プログラム

Program

■とき 平成29年10月28日（土）午後2時～4時

■ところ 四條畷神社「神社会館」

= 主催 =

四條畷楠正行の会

= 後援 =

四條畷市・四條畷市教育委員会・四條畷市立教育文化センター

なわて学実行委員会・産経新聞社

= 協力 =

四條畷神社・御妣会・小楠公偲ぶ会・ひまわりコーラス・さくら会

四條畷市詩吟連盟・大阪電気通信大学

タイムスケジュール

- 13 : 30 開場
- 14 : 00 開会あいさつ
四條畷楠正行の会副代表 真木 修
来賓代表挨拶
四條畷市長 東 修平
- 14 : 05 基調講演
「今、何故 楠氏一族を取り上げるのか」
～ 産経新聞、ロングラン企画・楠木正成考 秘話 ～
講師：安本寿久氏 産経新聞特別記者・編集委員
- 14 : 50 絵本完成プレゼンテーション
「くすのきまさつら」6分冊1巻本の絵本完成
6分冊のタイトル
正行の学び・正行の友・正行の大志・正行の恋・正行の情け・正行の最期
発表：大阪電気通信大学総合情報学部デジタルゲーム学科・木子香講師
- 15 : 05 特別出演 吟詠
四條畷市詩吟連盟
零丁洋を過ぐ 楠公子に訣るるの囀に題す（桜井の訣別） 小楠公の母を詠ず
小楠公の墓を弔う 楠公を詠ず
- 15 : 20 特別出演 コーラス
ひまわりコーラス
青葉茂れる桜井の（桜井の訣別） 四條畷（小楠公） ふるさと
- 15 : 35 特別出演 踊り
さくら会
河内音頭 河内酒 楠公まつり
- 15 : 50 四條畷楠正行の会発表
「朱舜水作・楠正行像賛発見の感動物語！」
四條畷楠正行の会代表 扇谷 昭
- 15 : 58 閉会あいさつ
四條畷楠正行の会世話人 国府 良三
- 16 : 00 閉会

基調講演・講師プロフィール



安本 寿久 (やすもと としひさ)

昭和33年、兵庫県生まれ

産経新聞大阪社会部次長、編集局次長兼総合編集部長、産経新聞編集長などを経て、現在は特別記者編集委員。著書に、「評伝廣瀬武夫」、共著に「親と子の日本史」「坂の上の雲をゆく」「人口減少時代の読み方」などがある。

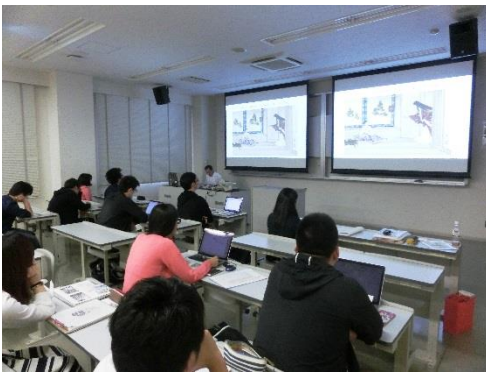
産経新聞は、平成28年3月25日を皮切りに、「戦後

71年 楠木正成考 『公』を忘れた日本人へ」と題し、1面トップを使った超ロングランの特集を組み、今、日本中に楠公ブームを巻き起こしている。

同特集は、1部「多聞誕生」、2部「武士から武将へ」、3部「挙兵前夜」、4部「倒幕」、5部「建武の新政」、6部「官軍奮戦」、7部「湊川の戦」、8部「正成なき官軍」、9部「嫡子・正行」、10部『『私』で生きる武将たち』、11部「後醍醐天皇」、12部「顕彰と忘却」、13部「父子を生んだ河内」、14部『『楠公さん』を生んだ兵庫(神戸)』、15部「千早赤阪村が伝える『楠公さん』」、16部「全国で祭られた楠公精神」、17部「歴史に残る楠公精神」と、楠木正成に焦点を当て、その余す所なく伝えている。

安本氏は、取材チームのヘッドとして、「私欲ではなく、公のために尽くそうとしたという意味で、正成は武士らしからぬ武士である。なぜ、そう考えて行動したか、その答えを求めることが連載の大きな目的・目標」と語る。

正行絵本完成プレゼンテーション



大阪電気通信大学総合情報学部デジタルゲーム学科
社会プロジェクト実習

木子香講師と19人の学生

今年、大阪電気通信大学では、クライアントからの依頼を受け、プロジェクトを実行する社会プロジェクト実習13プログラムを展開している。

四條畷楠正行の会の依頼を受けた木子香講師は、武将・楠正行を後世に伝える絵本制作を指導し、集まった19人の学生が6グループに分かれてテーマ別の絵本6分冊の制作に挑戦した。

4月に始まった授業は、「南北朝時代の人々の生活と楠正行の生い立ち」「楠正行の生きざまを繙く」「太平記に載る四條畷の合戦と楠正行」と3回の講義、そして観心寺(河内長野市)、渡辺橋(大阪市)、四條畷神社・小楠公墓所・和田賢秀の墓・歴史民俗資料館(四條畷市)、如意輪寺(吉野町)の現地学習を経て、7月から絵本の制作に着手し、夏休み返上で6分冊を制作した。絵本作家で観光大使、谷口智則氏にも意見をいただいた。

特別出演団体紹介

■四條畷市詩吟連盟 代表 磯崎廣子

四條畷市詩吟連盟は、四條畷市で活動する「関吟 華洲会」「関吟 鶯恵会」「岳龍会」「哲山流」「光世流」「坂東流」各支部で構成する詩吟愛好者の組織。

毎年夏に「吟詠大会」を開催しており、今年、第55回を迎えた。この吟詠大会は、「支部合吟」「会員吟詠」「役員吟詠」で構成され、楠氏ゆかりの吟題が数多く吟じられる。今年、扇谷代表は招待され、映像スクリーン紙芝居「正成、正行の生涯」を上映。

■ひまわりコーラス 代表 吉松ちか子

混声合唱団「ひまわりコーラス」は、大阪の地で開催された“花博”の年にわずか4名で誕生した。しかし、会員数は、その年に100名になった。大阪でも数少ない混声合唱団で、地域に根を張って市内各地で活動・活躍している。

四條畷市立教育文化センターでは、毎月、第2と第4の火曜日、午前10時から12時まで活動しており、会費は出席の都度、1回600円の超格安。

■盆踊り同好会 さくら会 代表 松田由枝

「おどり」が好きな者が集まって結成された同好会。毎月の例会以外に、ボランティア活動として、各地の老人ホームや社会福祉施設を訪問し、慰問活動を行っている。会員は、たくさんの方と出会いがあっいつも楽しく元気に踊っている、とのこと。

四條畷市立教育文化センターで、毎月、第1と第3の火曜日に例会をもって、2階のホールで踊っている。会費は年会費で、年度初めの4月に3000円集める。

四條畷楠正行の会からのインフォメーション

私たちの会は、平成26年11月に発足、楠正行について学び、そして顕彰し、次代を担う子ども達等を通じ、後世に長く広く語り継ぐことを目的に、活動している。

子どもから大人まで、一人でも多くの市内外の人々に、正行を知っていただきたく、大阪電気通信大学に依頼して楠正行の絵本を制作。また、朱舜水が残した楠正行像賛を描いた『正行像賛扇子』を制作・販売する等、正行の顕彰活動に取り組んでいる。

●正行像賛扇子

(株)山岡白竹堂製京扇子 7寸5分25間型 唐木染骨使用 表フルカラー 裏白黒
親骨裏側にレーザー彫り「四條畷楠正行の会」ネーム入り 紙箱入り

1本 2500円

四條畷楠正行の会

〒575-0021 大阪府四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内

電話&fax 072-878-0020